ICTを日常的に活用するために

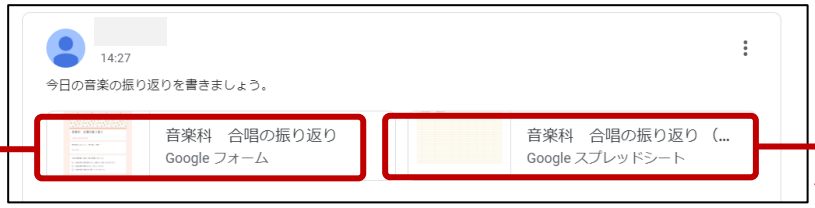
岡山県総合教育センター企画部（0866-56-9102）
発行：令和５年９月２７日（水）

ワンポイントGIGA通信 Vol. 5

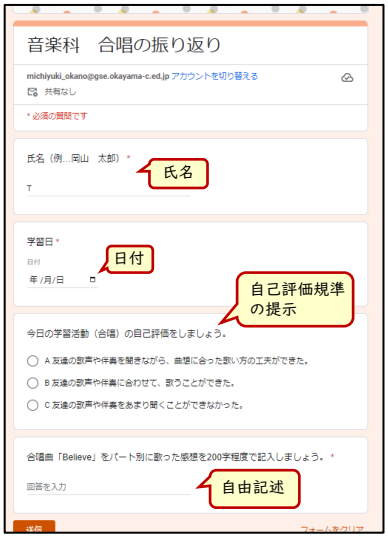
今回のポイント：「授業や行事等の振り返りをクラウド上で実施し、互いに参照し合う。」

ICTが苦手な人も「まずはここから！」

【「授業支援ソフト（例…Google Classroom,ロイロノート等）」に、「振り返りフォーム」と「回答が集計される表計算アプリ」を添付しておく】



【振り返りフォーム】



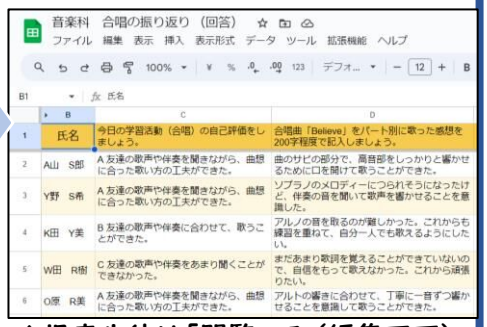
「振り返りを入力した児童生徒」「他の意見を参考にしたい児童生徒」は、**随時「他者参照」可能**

←定型の振り返りフォームを作成しておくと、**毎回作成する必要はない**。

※必要に応じて、家庭学習として実施することも可能

【参考】教育の情報化ユニット研修
ユニットⅠⅠ「フォームを使ったアンケート作成」
https://www.pref.okayama.jp/page/683507.html#unitⅠⅠ

【回答が集計される表計算アプリ】



↑児童生徒は「閲覧のみ（編集不可）」の設定にしておくと、誤操作で削除されることはない。

本実践で育成できる児童生徒の資質・能力

「定型の振り返りフォーム」を活用した「タイピングによる文字入力」は、慣れてくると、手書きより**速く効率的に自身の学びや気付きをアウトプット**できます。また、「自身の思いや考えを言語化することが苦手な児童生徒」は、随時他者の意見を参考にすることができるので、**多様な言語表現について学ぶ**ことができます 。

本実践における教師のメリット

児童生徒の回答を効率的かつ即時的に把握することができ、**業務の効率化**にもつながり、児童生徒の評価や学習活動の記録だけでなく、自身の業務改善にも役立てることができます。

「こんなときどうする？」端末活用 Q&A

Q.　クラウドで「他者参照」をさせると、児童生徒が他人の考えを「コピー＆ペースト」するようになり、自分の考えを持とうとしなくなるのではないかと心配です。

A.　何を書けばよいか分からない児童生徒にとって、**初めは「他者の模倣」でも構いません**。他者の意見を参考にさせつつも、少しずつ自分独自の視点や考えを言語化できるように指導・支援しましょう。

他者参照は、自分の記述と比較したり、多様な角度で考えたりすることで、**学びの定着や、より深い思考の機会**にもなります。クラウドを活用することで比較的簡単に実施できるので、積極的に取り組んでみましょう。

【参考】「振り返り活動で相互参照」
文部科学省GIGAStuDX
https://www.mext.go.jp/content/20221228-mxt_kyoiku01-000026669.pdf